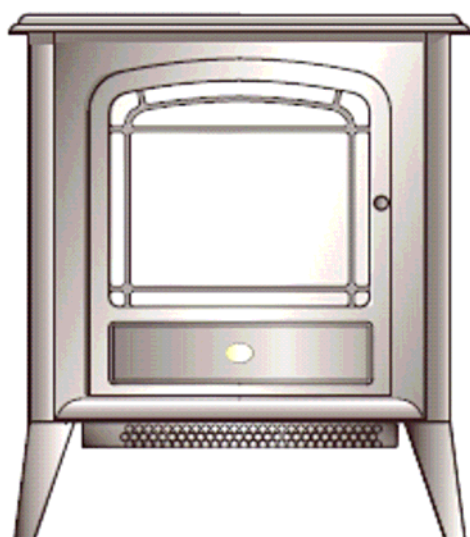


# 取扱説明書 (保証書付)

# Club



## ご使用まえに

- この度は、電気暖炉 CLB20J をお買い上げいただきましてありがとうございます。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- この取扱説明書には保証書がついておりますので、お読みになった後は大切に保管してください。

## もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえ	3
設置の方法	3
運転のしかた	4
電球の交換のしかた	5
お手入れのしかた	6
保管のしかた	6
故障診断	6
保証とアフターサービス	7
仕様	7

# 安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

表示内容を無視した時に生じる人身への危害、財産への損害の程度を、次のレベルに分類し説明しています。

**⚠ 警告**：取扱いを誤った場合、死亡または重症を負う可能性が想定される内容です。

**⚠ 注意**：取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の記号で区分し説明しています。

**🚫 禁止図記号**………製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号。

**👉 指示図記号**………製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号。

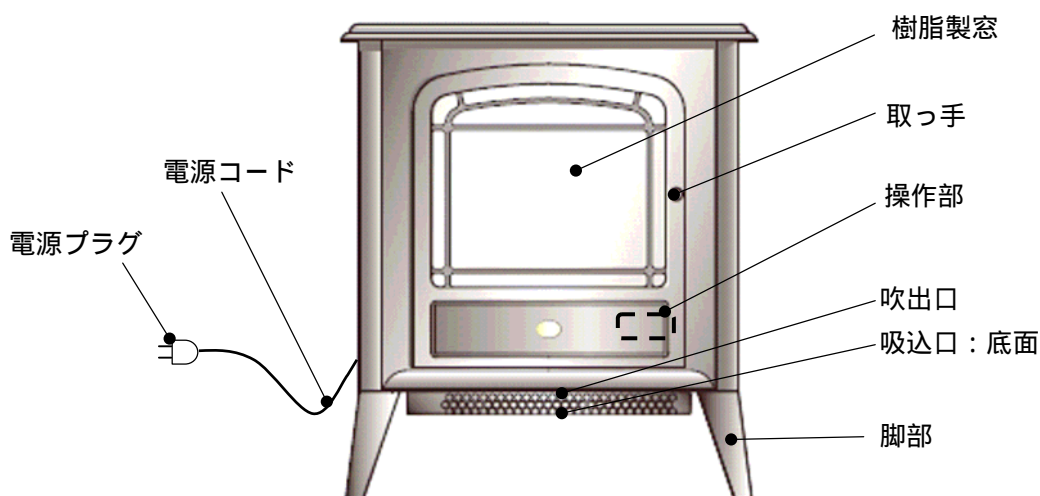
## ⚠ 警告

- 👉 電源は、壁の100Vのコンセントに電源プラグを差込んでください。**  
200Vに接続すると、発火の恐れがあります。  
**電源プラグは根本までしっかりと差込んでください。ゆるいコンセントは使わないでください。**  
過熱により発火する恐れがあります。
- 👉 本体の上方と前方に十分な空間を設けて設置してください。カーテンのように燃えやすい物や家電製品のように熱に弱い物は遠ざけてください。スプレー缶等は近づけないでください。**  
爆発・火災・変形・変色・故障などの原因となります。
- 👉 電源コードや電源プラグが熱い場合、または電源コードを動かすと電源が切れる場合には、直ちに使用を中止してください。**  
電源コードの半断線です。使用し続けると発火する恐れがあります。
- 👉 シーズンオフや長期間使用しない場合には、電源プラグをコンセントから抜いてください。プラグおよびコンセントの表面に汚れがあれば、乾いた布等で除去してください。**  
トラッキングによる発火、意図せぬ通電、雷等による故障を防ぎます。トラッキングとはプラグからでている2本の電極の間が汚れ、湿気等によりショートすることです。
- 🚫 延長コードやマルチタップ類は絶対に使用しないでください。**  
コードやプラグ等が過熱して発火することがあります。
- 🚫 電源コードを本体に掛けたり巻きつけたり、吹出口の前に置いたりしないでください。**  
熱でコードが傷み、感電や発火の原因となります。
- 🚫 コンセントが近くにある電源コードの長さが余っても、絶対に束ねないでください。**  
熱でコードが傷み、感電や発火の原因となります。
- 🚫 電源コードに重い物を載せたり、傷つけたりしないでください。キャスターで踏みつけることにも注意願います。**  
被覆の破損や芯線の断線により、発火の原因となります。
- 🚫 コンセントの上では使用しないでください。**  
ヒーターの熱で、この製品や他の製品の電源コードを傷めて、火災の原因となる恐れがあります。
- 🚫 吸込口や吹出口を覆ったり、物を置いて通風を妨げたりしないでください。**  
過熱により火災につながる恐れがあります。
- 🚫 幼児を暖炉の付近に放置しないでください。必ず保護者が監視してください。吹出口に金属棒や指を差込んだり、つかまり立ちしないようご注意ください。**  
感電・ケガ・ヤケド等の恐れがあります。
- 🚫 犬・猫など、ペットの暖房用には使用しないでください。**  
歯や爪で電源コードを傷つけたり、排泄物が絶縁劣化を起こして、発火の原因となります。
- 🚫 就寝するなど、長時間にわたって暖房中の電気暖炉の直前に居ることのないようにしてください。**  
熱中症の恐れがあります。幼児やお年寄り、泥酔された方には特にご注意ください。
- 🚫 水のかかるおそれのある場所や湿度の高い場所に置かないでください。また、花瓶等水の入った物を載せないでください。**  
水滴の付着や結露により絶縁劣化をもたらす、感電の原因となります。
- 🚫 技術修理者以外の方は、分解・修理を行わないでください。**  
誤った修理を行なうと、発火や感電の恐れがあります。

## ⚠ 注意

- 👉 電源コードをコンセントから抜く場合には、必ずプラグを持って抜いてください。**  
コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷み、発火の原因となります。
- 👉 据付は、水平で暖房の熱が拡散しやすい、安定した床面に設置してください。倒れるとケガをする恐れがあります。**  
毛足の長いじゅうたんを使用されると底面にある空気吸込口が塞がれます。また、キャスターを外してのご使用も空気吸込口が塞がれますので行なわないでください。
- 🚫 吸込口や吹出口の隙間から異物を差し込まないでください。**  
感電やケガの恐れがあります。
- 🚫 前面パネルなど本体の外装は高温になります。使用中は金属部分には触れないでください。**  
幼児が触らないよう、ご注意ください。お手入れや移動は冷めてから行なってください。
- 🚫 ガラス使用製品です。衝撃を与えないでください。**  
移動・保管などの取扱いは、慎重に行なってください。
- 🚫 ぬれた手で電源プラグの抜き差しやスイッチの操作を行わないでください。**  
感電の恐れがあります。

# 各部のなまえ

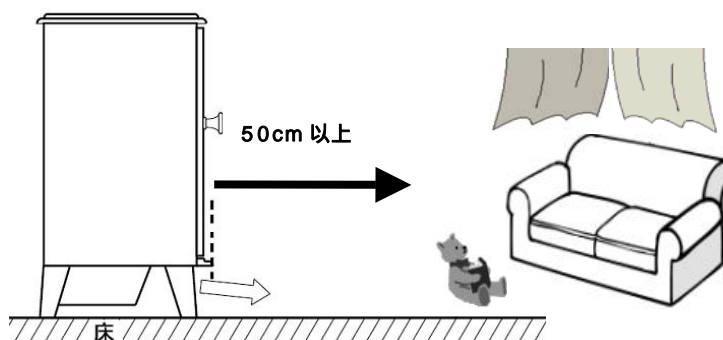


## 設置の方法

### 離隔距離に関して

電気暖炉を設置する際、カーテン・家具・壁等に対しては(右)前方離隔をとってください。(変色及び事故・火災の恐れがあります。)

- ・ 前方向に 50cm 以上離してください。



### 電源は、壁のコンセントに電源プラグを直接差込んでください。

延長コード・マルチタップ類は使用しないでください。使用電流がオーバーすると過熱して火災の原因となります。

コードの長さが余っても、絶対に束ねないでください。コードが異常過熱し危険です。

電源プラグ及び電源コードに直接温風があたらない状態でご使用ください。暖房運転によりコンセントに接続された電源コードが過熱して発火する恐れがあります。

長期間ご使用にならない場合には、電源プラグをコンセントから抜いてください。誤ってスイッチが入ることを防ぎます。

### 水平で安定した場所に設置してください。

毛足の長いじゅうたんは、底面の空気吸込口を塞ぎ、過熱・故障の原因となります。

ヒーターを「強」にて長時間使用すると、吹出口周辺のフローリングやじゅうたんが変色することがあります。それらの変色を防ぐ為、別の敷物を当てる等して直接温風があたらないようにすることをおすすめします。

### 過熱・火災を防ぐために、前・上・左右に十分な空間を設けてください。

カーテン等が触れることのないようにしてください。

洗濯物などをかけると、過熱・発火する恐れがあります。

### 吹出口の前に物を置かないでください。

スプレー缶類を置くと爆発・火災の危険があります。

電源プラグ、電源コードが直接温風にあたる場所があると、過熱して発火する恐れがあります。

温風の吹出しが妨げられると、内部が過熱して故障の原因となります。

### 花瓶など水の入ったものを本体に載せないでください。

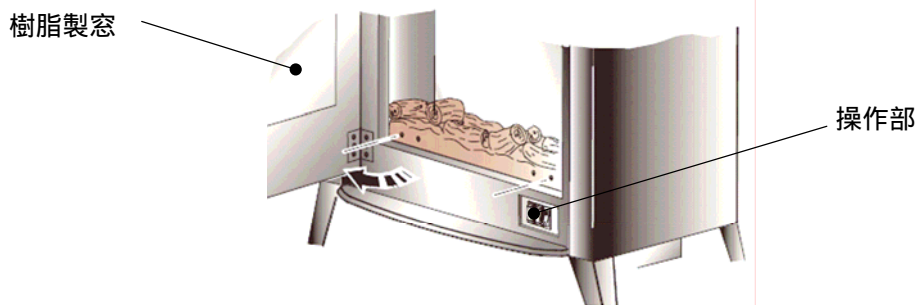
水がこぼれた場合には、感電などの原因となります。

鉢植えの植物等も、水をこぼすおそれがありますので、置かないでください。

# 運転のしかた

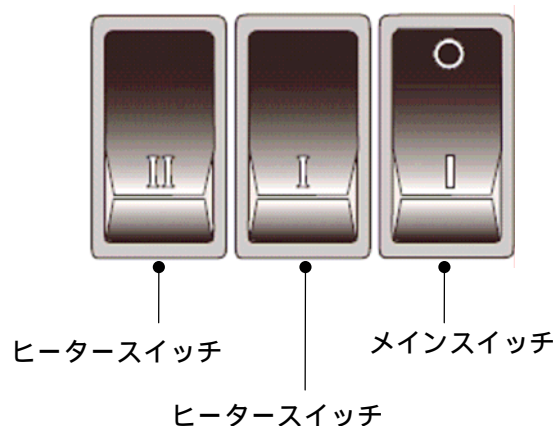
## 運転開始

樹脂製窓を開き、操作部が見える状態にします。



「メインスイッチ」を押します。擬似炎が作動します。  
擬似炎メカから小さな音が発生しますが異常ではありません。

## 操作部のスイッチ



## 暖房運転

擬似炎を点灯させてから「ヒータースイッチ」を入れます。ファンが作動し、ヒーター「弱」で暖房を開始します。

さらに「ヒータースイッチ」を入れるとヒーター「強」になります。

「ヒータースイッチ」を入れずに「ヒータースイッチ」だけ入れても、暖房運転はできません。

## 運転の停止

運転中に「メインスイッチ」を切ると、全ての運転が停止します。

次に「メインスイッチ」を入れた時には、前の運転状態が継続されます。

## 長期間ご使用にならない時

シーズンオフや旅行等で長期間ご使用にならない場合には、電源プラグを抜いてください。トラッキングによる発火、意図せぬ通電、落雷による故障を防ぎます。

保管される場合には、乾燥した場所でホコリが入らないように保管してください。

# 電球の交換のしかた

## 擬似炎には2個の電球が使用されています。

1個の電球が切れると擬似炎が暗くなり、2個とも切れると擬似炎は映し出されません。このようなときには電球を交換してください。

## 電球は下記のものをお買い求めください。

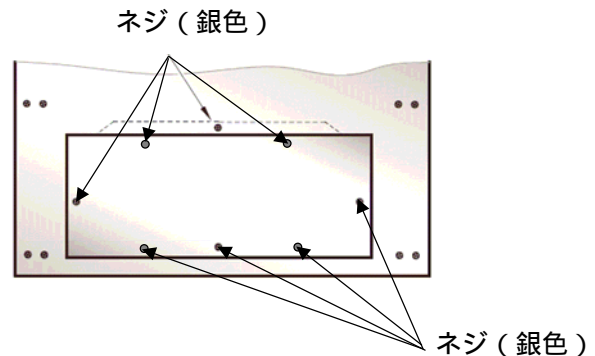
交換用電球ご購入の際は：**シャンデリア電球 口金E12 100/110V 40W**をお選びください。

\* 本商品のご購入時には「口金E12 120V 60W」のシャンデリア電球が付いていますが、この電球を100Vで使用した場合、「口金E12 100/110V 40W」とほぼ同等品となります。

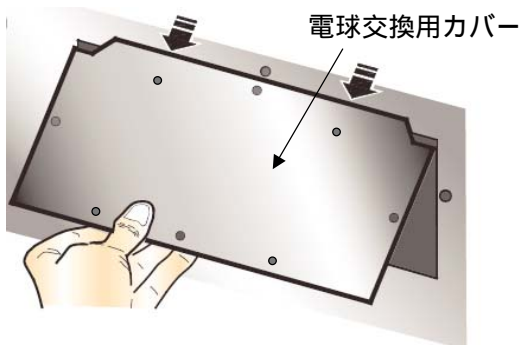
## 電球の交換は次のように行なってください。

「メインスイッチ」を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

本体背面にあるネジ（銀色）を8ヶ所外します。



「電球交換用カバー」を開けます。



**ご注意：**運転停止直後の電球は熱くなっています。冷めるまでは触れないでください。  
本体内部や「電球交換用カバー」裏面には金属のエッジやネジの先端があります。触れてケガをされないようご注意ください。

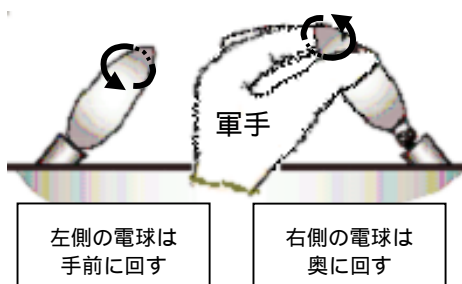
電源プラグをコンセントに接続し「メインスイッチ」を入れて、切れている電球を確認します。

再び「メインスイッチ」を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

切れている電球を新しいものに交換します。

電球を取り外す際は、下図のように電球を軽く持ち、時計と反対回りに電球を外します。

\* 背面から見て、右側の電球は奥に回し、左側の電球は手前に回します。



### < ご注意 >

電球の取替えは、スイッチを切ったあと、温度が下がってからおこなってください。やけどの原因となります。

電源プラグを差し込んだまま電球の交換を行ないますと、電球の口金に触れて感電する恐れがあります。

電球がきつく締まっていることがありますので、交換の際は、軍手等の保護手袋をご使用下さい。また、電球を装着する際は、根元まで、しっかりと締め込んでください。

電源を接続し、交換した電球が点灯することを確認します。

「電球交換用カバー」を元通りに取り付けます。

# お手入れのしかた

安全で快適にご使用いただくために、定期的にお手入れをしてください。

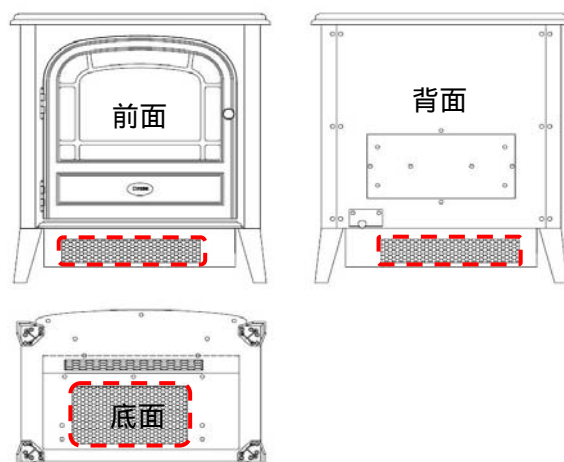
お手入れの前に電源プラグをコンセントから抜き、各部が十分に冷えてから行なってください。

柔らかな布に水を含ませ、硬く絞ってから拭いてください。汚れがとれないときには薄めた中性洗剤を使用してください。クレンザー・シンナー等は表面を傷つけますので使用しないでください。操作部や内部には絶対に水がかからないように注意してください。

電源コードにキズや熱くなる部分がないかを確認し、異常があれば交換を依頼してください。

特に、電源プラグの付け根および本体からの出口部は、しっかりと確認してください。

ヒーターをご使用される期間については2週間に1度程度、吸込口・吹出口のグリル部（右絵点線部分）のホコリを掃除機で吸い取って下さい。



# 保管のしかた

ホコリが入らないように、ポリ袋等のカバーをお使いください。

ホコリの少ない乾燥した場所で保管してください。

# 故障診断

症状	点検・原因	処置
電源が入らない。	電源プラグの外れ	正しく差しこむ。
	ブレーカーの落ち	原因を調べてから復旧させる。
擬似炎が暗い、小さい、点灯しない。	電球切れ	電球の交換
操作部扉や扉内のスイッチ周辺が熱い。暖房運転が時々止まる。	吸込口がじゅうたん等で塞がれている。	通風をよくする。
	吹出口に物が置かれている。	物を移動させる。
	吸込口・吹出口に多量の綿埃等が付着している。	掃除する。
ヒーターを入れないのに本体が暖かい。	擬似炎用の電球の発熱で、電球付近を中心に温度が上がりますが、異常ではありません。	
異音がする。	擬似炎メカのギアモーター音がしますが異常ではありません。 送風機の音がしますが異常ではありません。	通常より大きな音・異質な音がする場合には、点検を依頼する。
電源プラグが熱い。電源コードが熱い。電源コードを動かすと電源が切れる。	プラグの異常	電源コードの交換
	コードの半断線	電源コードの交換
ヒーターに通電するとブレーカーが働く。	ブレーカー容量以上の機器が接続されている。	接続機器を減らす。

上記のことを調べても原因がわからない場合には、販売店または当社へ連絡ください。

電源コードが破損した場合の交換は、安全のために当社もしくは販売店、または同等の技術をもつ事業者へ依頼してください。不適切な処理は、発火の原因となります。

# 保証とアフターサービス

使用中に異常が生じた場合には、直ちにスイッチを切り電源プラグを抜いて、故障診断の内容の確認を行ない、それでも改善されない場合には、お買い上げの販売店または下記のお客様ご相談窓口へご相談ください。

保証期間内の修理については、保証書に基づき無料で行ないます。

保証期間経過後の修理については、修理により機能が維持できる場合には、お客様の要望により有料で修理いたします。

この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後6年間です。

販売店または下記のお客様ご相談窓口へご相談される場合には、下記の内容をご連絡ください。

製品名  
症状  
お買上げ年月日（保証書に記載）  
お客様名、ご住所、電話番号

## お客様ご相談窓口

株式会社 ディンプレックス・ジャパン

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-11-12 TK堀留ビル5階

TEL：03-6272-3791 FAX：03-5695-0271

北海道営業所

〒007-0846 北海道札幌市東区北46条東17丁目2番23号

TEL：011-783-7989 FAX：011-783-7747

## ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

(株)ディンプレックス・ジャパン(以下「当社」)は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報(以下「個人情報」)を下記のとおり、お取り扱いします。

当社は、お客様の個人情報を、本商品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供しません。

当社はお客様の個人情報を、適切に管理します。

お客様の個人情報に関するお問合せは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

# 仕様

型番	CLB20J
電源	100V 50/60Hz
消費電力	1267W (電球：40W×2個、ヒーター：565W×2個)
製品質量	21kg
外形寸法	高さ600mm×幅490mm×奥行332mm
適用畳数	3～8畳
送風機	クロスフローファン
擬似炎用電球(交換用)	シャンデリア電球 口金E12 100/110V 40W
電源コード長さ	約2m
安全装置	過昇温度防止装置(自動復帰81、手動復帰125) 転倒時電源遮断スイッチ

# 保証書

品名	電気暖炉 Club
型番	CLB20J
お客様	お名前 様 ご住所 (〒 ) 電話番号 ( )
お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げ日から本体 3 年間 (擬似炎用電球を除く)
販売店	販売店名 住所 電話番号 ( )

本書は、お買い上げの日から上記期間中故障が発生した場合には、下記<無料修理規定>に基づき無料修理を行うことをお約束するものです。

詳細は、下記<無料修理規定>をご参照ください。

## <無料修理規定>

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。  
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。  
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、輸入元にご連絡ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店又は輸入元にご相談ください。
- ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、輸入元へご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。  
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷  
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷  
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷  
(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷  
(ホ) 本書のご提示がない場合、本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合  
(ヘ) 離島又は離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行う場合の、出張に要する実費  
(ト) 取扱説明書に指示する方法以外の工事設計または取付工事等が原因で生じた不具合、故障及び損傷  
(チ) 擬似炎用電球を交換する場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 販売店の連絡先は、上記保証書内をご参照ください。

この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又はお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

This warranty is valid only in Japan.

輸入元 株式会社ディンプレックス・ジャパン

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-11-12 T K堀留ビル5階 TEL: 03-6272-3791 FAX: 03-5695-0271

MA060017D 08/09/26